

平成 27 年 5 月 8 日 記者発表資料

平成 27 年 5 月 7 日作成
担当：防災監兼危機管理課長
富田 誠
内線：2430

市内河川の氾濫防止対策について
～ 河川氾濫原因調査結果及び今後の対応 ～

三木市では、昨年 8 月 10 日(日)の台風 11 号や平成 16 年 10 月 20 日の台風 23 号の上陸に伴う大雨等において市内の河川が繰り返し氾濫しており、吞吐ダム放流の影響が懸念されたため因果関係の調査を実施しました。

調査の結果と今後の三木市の河川氾濫防止対策につきましてお知らせします。

1 河川氾濫原因調査結果

(1) 調査期間

平成 26 年 10 月 31 日～平成 27 年 3 月 31 日

(2) 調査内容

平成 15 年から平成 26 年における吞吐ダム放流時における、ダム放流データと河川水位データの分析により氾濫原因調査

(3) 調査結果

対象区間の河川の水位の上昇は、上流からの流量の増加による影響が要因であり、「桃津」や「山の上」においては、ダムの放流の影響を受けていないことがわかりました。

このことから、過去における河川からの浸水は、河川の流下能力が不足していることが原因であると推察されます。

別紙 河川氾濫原因調査結果

2 今後の河川氾濫防止対策

河川氾濫対策としては、河川の流れを阻害する部分を解消するとともに、河川の流下能力を向上させることが必要であるため、県（加東土木事務所）が今年度、美囊川の現況調査を実施します。その後、この調査結果を受けて、効果的な治水対策の検討を予定しています。

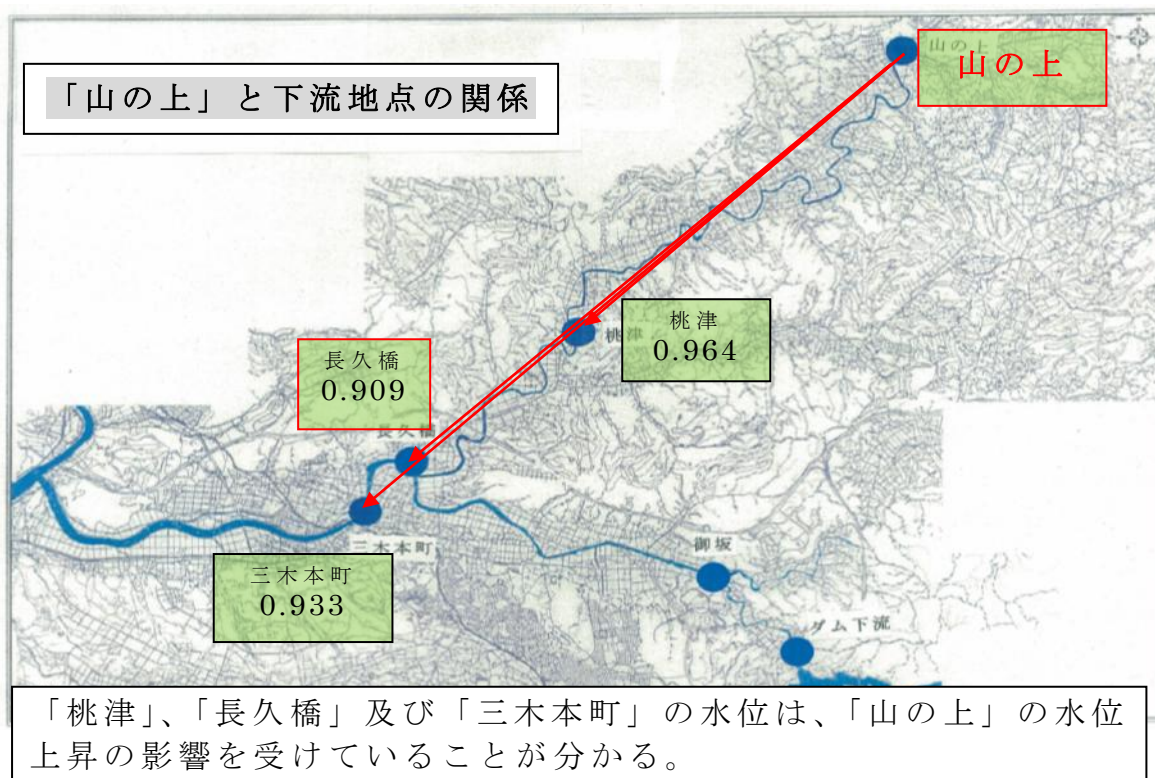
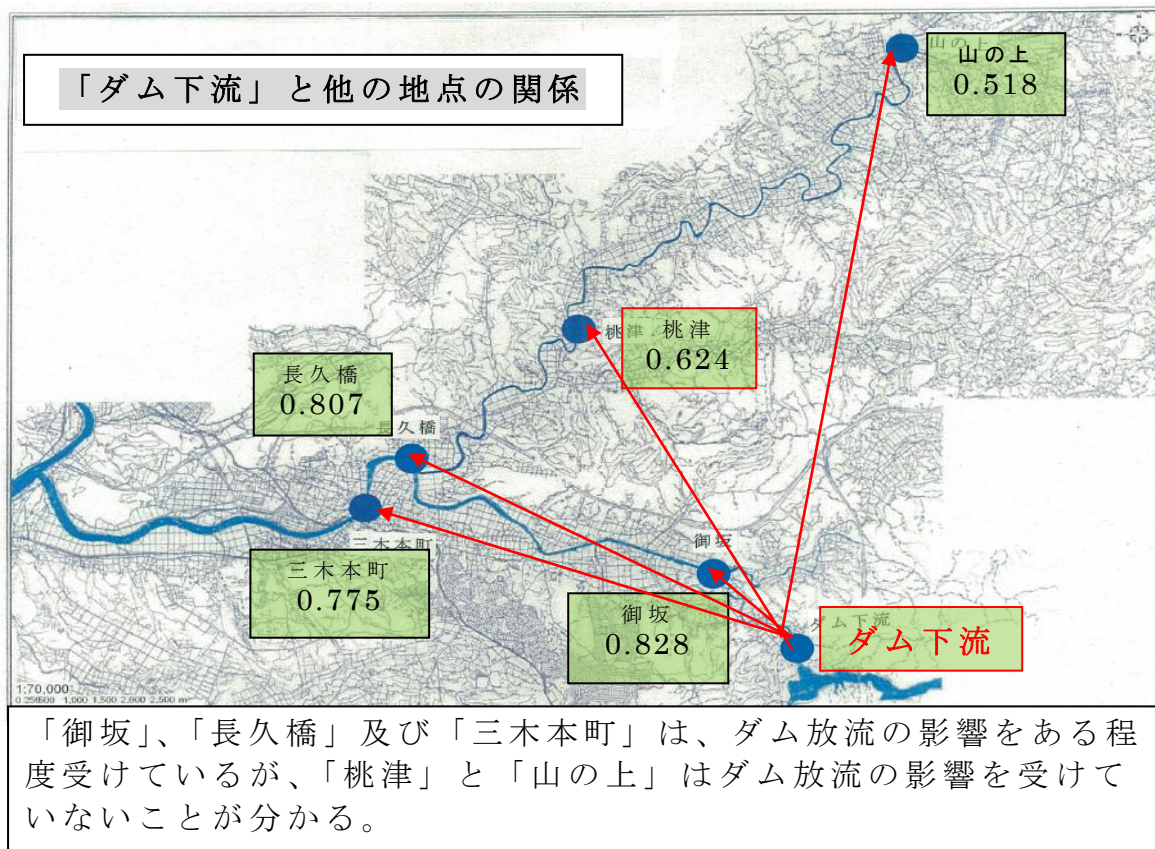
市としましては、県が実施する調査に協力するとともに河川改修計画に関する県との協議を継続してまいります。

（添付資料）

別紙 河川氾濫原因調査結果

問い合わせ先 三木市危機管理課 ☎0794-82-2000（内線 2430）

氾濫原因調査結果



* 数値は、「1」に近いほど、相互の関係が強くなります。